

働く人たちの幸せを大切にする企業によりそい、「ありがとう」で溢れる世界をつくる

「メンタルヘルスの取り組み」に関する企業アンケート調査結果



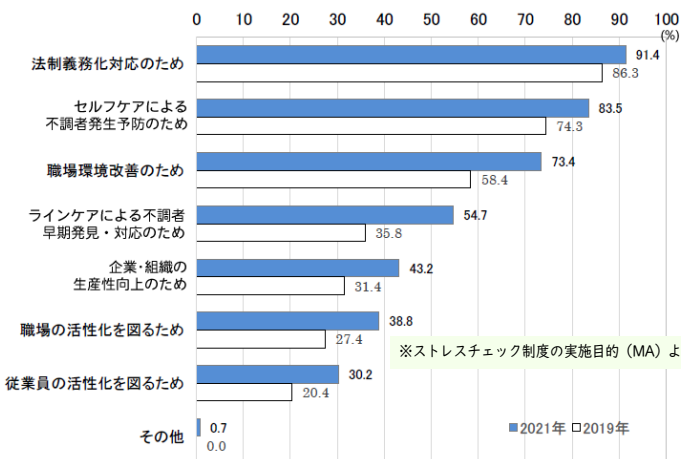
2021年12月、公益財団法人日本生産性本部より「メンタルヘルスの取り組み」に関する企業アンケート調査結果が公表されました。この調査は、企業のメンタルヘルス対策の取り組み状況を把握するために2002年から概ね隔年で実施されており、今回が10回目ですが、コロナ禍以降では初めての調査となりました。働く場所や働き方が見直される中、従業員のメンタルヘルスの現状とコロナ禍による影響を把握すると同時に、生産性向上や職場活性化などストレスチェック制度のポジティブな活用についても確認されています。今号では、調査結果のポイントをご紹介します。 [※より詳しい報告資料はこちら（ユーザー登録の必要あり）](#)

①「心の病」の最も多い年齢層

「心の病」が最も多い年齢層は、30代が最多（39.9%）で、次いで10～20代（29.0%）、40代（27.5%）となりました。30代は2010年まで最も多かったのですが、その後は減少し、前回の2019年までは10～20代や40代との世代間の差が見られない状況が続いていました。しかしながら、今回は再び30代が増加傾向となり、日本生産性本部は「コロナ禍での働き方の変化によって“責任と権限のアンバランス”が再び30代に集中してきたのかもしれない」とコメントしています。

③ストレスチェック制度の実施目的

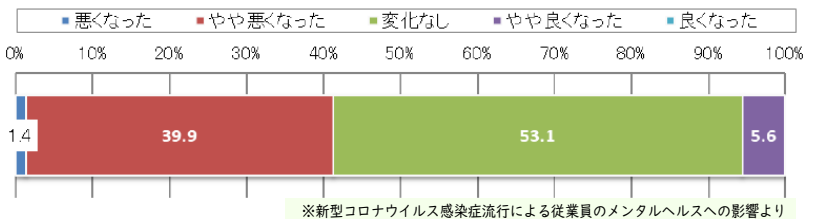
ストレスチェック制度の実施目的は、前回の2019年に続き「法制義務化対応のため」が最多（91.4%）です。



また「企業・組織の生産性向上のため」が43.2%（前回比+11.8ポイント）、「職場の活性化を図るため」が38.8%（同+11.4ポイント）、「従業員の活性化を図るため」が30.2%（同+9.8ポイント）と、ストレスチェックをポジティブに活用しようとする目的が増加しています。ストレスチェック制度の目的が多方面に広がり、制度に対する期待が大きくなっていると考えられます。

②コロナ禍の従業員へのメンタルへの影響とその要因

コロナ禍で従業員のメンタルヘルスが悪化した（「悪くなった」「やや悪くなった」と回答した企業が約4割（41.3%）、「変化なし」「やや良くなった」と回答した企業は約6割（58.7%）でした。なお、「良くなった」と回答した企業はゼロでした。



メンタルヘルスが悪化した要因は、「コミュニケーションの変化」が約9割（86.2%）と最も多く、次いで「在宅勤務の増加」と「感染への不安」がともに56.9%となっています。また、「在宅勤務の増加」はメンタルヘルスが悪化していない要因の第1位（66.7%）でもあり、2位の「職場の対人関係の変化」（52.9%）とともに、メンタルヘルスが悪化している要因とも悪化していない要因ともみられています。この点、対人関係はストレスの要因になるものですが、在宅勤務により解消されている可能性があると考えられます。

④組織の働き方等改善状況

③のストレスチェック制度以外にも、働く人々の環境を良くしようとする活動がさまざまに行われており、メンタルヘルスを直接の目的としない施策でも、メンタルヘルスの改善に貢献しています。「健康経営」では、前回の2019年と比較して、効果が上がっているとの回答が8.9ポイント増加しており、約半数（49.7%）で効果がみられるようになってきました。「ハラスメント対策」では、同じく効果が上がっているとの回答が12.5ポイントと大きく増加しており、7割弱（67.6%）で取り組みの効果がみられるようになってきました。また「働き方改革」も、コロナ禍をきっかけに在宅勤務を中心に多くの企業で取り組みられ、効果が上がっているとの回答が前回の28.3%から57.4%に約2倍と大幅に増加しています。



昨年8月に発行したHP通信第315号では「令和2年労働安全衛生調査」による企業のメンタルヘルス対策等の実態について解説しました。ここでは、メンタルヘルス対策に取り組んでいる企業の取組内容として、ストレスチェックの実施に加えて職場環境等の評価及び改善に取り組んでいる企業が増加していること、また、労働者が仕事面で強い不安やストレスを抱える原因としては、仕事の量、仕事の失敗・責任の発生等が主に挙げられていることを紹介しています。経営者・管理者の皆様におかれましては、ぜひバックナンバーもご覧いただき、自社のメンタルヘルス対策の参考にいただければ幸いです。

ご不明な点がございましたら、ヒューマン・プライムまでお問い合わせください。TEL.03-5695-7700

この通信がご不要な方は、お手数ですが弊社までご連絡ください。